第５回　南砺市男女共同参画推進審議会　　議事要旨

■日　時：平成 28 年 11 月 18 日（金）　19:00～21:30
■場　所：南砺市協働のまちづくり支援センター横　大会議室
■出席者：

〔委員〕

大坪　久美子、沖田　功、斎藤　愛生、澤田　和代、武田　和一、 中筋　愛子、
松井　春美（副会長）、森田　利一、渡辺　文雄、渡辺 敏敏（会長）

※敬称略、五十音順に表記

〔事務局〕

南砺市　市民協働部　部長 吉澤 昇、南砺で暮らしません課　課長 市川 孝弘、
副主幹 石本 裕、〃 石崎 裕子
㈱東洋設計 都市空間情報部　南　雅

■議事次第
１．開会
２．会長挨拶
３．付議事項
（１）第２次　南砺市男女共同参画推進プラン（最終案）について
（２）サブタイトルについて
（３）成果目標指標について
（４）今後のスケジュールについて
４．閉会

■議事要旨
（１）第２次　南砺市男女共同参画推進プラン（最終案）について
①施策内容

意　見　等	対　　応
・本プランは、男女共同参画社会を実現するため、「多様性を受け入れる」ことを大きな柱と捉え、内容を示すことが最も重要であり、プランについて、施策内容を絞り込むことが望ましいのではないか。	・これまでに議論を重ねた結果をできるだけ、簡潔にわかりやすく示したいと考えている。
・P3　2.(1)目的について、ジェンダーの考え方を踏まえると、…「男ならでは」「女ならでは」といった、それぞれの特性を認めつつ、…は、表記不要では。	・…従来の固定的観念を改め、…に修正する。

・P29　2章　1.(1)3段落の文章は、男女共同参画社会の実現は、人口減少や少子化、超高齢社会の進行を抑えるためにあると読めるが、趣旨は、その逆ではないか。	・南砺市が目指す男女共同参画社会の一側面を当該項目で記載しており、ここでの記載は適当と考えている。
・ジェンダー教育や自主防災組織など、関連部署で所管する計画内容と本プランの内容が重複されて表記されていることは、施策の整合を図るうえで望ましいのではないか。	・他部署が所管する主たる計画の内容について、本プランで重複する表記は避けたい。但し、今後の定期的な施策調整等段階において、施策の整合等について協議を行うこととしたい。
・P37　2.(1)①等で、女子差別撤廃条約について、国の取り組みを地方自治体でも展開することを踏まえれば、本プランでもわかりやすく記載することは、あってもよいのではないか。 ・本プランにＤＶが盛り込まれること自体、プランの本筋をわかり難くしており、そこに加えて条約レベルの内容を盛り込むことは、広く市民に啓発すべき内容を逸脱することも懸念される。	・地方自治体として取り組むべき内容を、できるだけわかりやすく示すこととし、女子差別撤廃条約関連の内容は、示さないこととしたい。
・P39　3.のタイトル「共同」は「ともに」に修正するほうがよいのでは。	・「男女がともに活躍できる社会づくり」に修正する。
・P40　3.(2)①　子育て支援について、保育サービスの充実は、施設の統合により達成されたものと考えられるが、子どもたちの保育の多様性について、あるべき姿を示す視点が必要ではないか。 ・庁内における各分野の審議会内容の整合が図られることを強く希望する。	・南砺市では、「子ども子育て計画」において、保育サービスの在り方等について、具体的に示しているため、本プランでは各分野で策定される個別のテーマに関わる計画については、その内容を尊重することとし、本プランでも記載している年1回の庁内調整機会で施策の整合を図ることとしたい。
・P41　3.(2)④　協働に取り組む目的を明記すべき。	・「ボランティア・ＮＰＯ等と、持続した活動との協働により、男女共同参画活動の推進に取り組みます」に修正する。
・P33　3.(1)④「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ」の解説文は、頁内の欄外に注釈することとし、本文中の解釈に相当する文章は削除すべき。 ・カタカナ表記をはじめ、難しい用語はできるだけ用いないほうが良い。	・巻末の用語解説と合わせて、当該部は頁内に注釈を加え、本文中の解釈箇所は削除する。

②字句の修正

意　見　等	対　　応
・P33　3.(1)④「リプロダクティブ・ヘルス」に「／ライツ」を追記	・追記する。
・P42　4.(1)①「健診」は、「健康診査」に修正	・修正する。

③その他

意　見　等	対　　応
・表紙のデザインはどうなるのか。	・内容を検討する。
・第２次の表記は、計画名称の末尾につけるほうがよい。	・「南砺市男女共同参画推進プラン（第２次）」とする。

（２）サブタイトルについて

・事務局が示した３案に委員から提案された１案及び１次プランのサブタイトルを加えた５案を審議、最終的に多数決により、委員から提案された下記のサブタイトルを採用することとした。

〔サブタイトル（決定）〕

共に認め支え合う　南砺の明るい未来に向けて

	案	１回目	２回目	採決
①	みんなの活躍と支え合いによる　新しい社会を目指して	0	―	―
②	ひとが輝き　ともに築く　みんなの活躍新時代	1	―	―
③	ひとが活力に満ち、輝ける社会　誇れるまちづくり	3+1*	4+1*	―
④	共に認め支え合う　南砺の明るい未来に向けて	4	6	◎
⑤	たがいに認め合い　支えあう社会を目指して	2	―	―

１回目投票時の＋１は、欠席した委員の意見。

２回目の投票は、１回目の投票で同数であった③④の両案で決選投票を行った。

（３）成果目標指標について

意　見　等	対　　応
・目標値が 5 年と 10 年で同値では、積極性を欠くのでは。	・関係課の所管する計画に準じた目標とのため、期間が 5 年の場合、10 年の目標値は記載しないこととし、5 年時点のプラン見直しにおいて、整合に配慮し再設定することとしたい。 ・5 年、10 年の目標値は、その時点の達成度の目安となるものであり、達成されていれば、適宜、見直しを行うこととなる。
・1.(1)の市民意識調査は、本プランで実施された調査なのか。	・本プランで実施した市民意識調査とは異なる調査であり、総合計画に準じたものである。
・2.(2)の目標値について、相談窓口の設置数を設定してはどうか。	・今後のチェック段階等において、見直しの必要を検討したい。
・2.(1)の目標値は、年開催回数か。	・年開催回数である。
・5.(1)の男女共同参画推進員数が H27 年現在の 76 人から 5 年後の目標数が減少している理由は。	・H28 年現在、74 人であり、県からの 70 名の推薦枠に加えた地域の推薦枠が減少したことによる。

（４）今後のスケジュールについて

承認された。

以上